



# 田村たくみ県議会だより Challenge Spirit

H28.3.31

～チャレンジ スピリッツ～

vol.61

Challenge Spiritとは・・・

直訳で「挑戦する精神」。一度志を抱いたならば、一度の挫折を苦とせず糧とし、常に挑戦する気持ちで前向きに頑張っていく「田村たくみ」の精神を表したものの。

## 平成28年2月定例県議会特集！

### 平成28年度予算を可決！議員提出条例2本制定！

謹啓 早春の候、皆様方に於かれましては、健やかに過ごしのこととお喜び申し上げます。平素は、私の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、統一地方選挙から早いもので一年の月日が過ぎました。この間、県民の負託に応えるべく県政推進・地域発展のため鋭意様々な取り組みを重ねて参りました。

2月19日から開会しておりました埼玉県議会2月定例会が3月25日に閉会致しました。知事より開会日に提案されました第1号議案「平成28年度 埼玉県一般会計予算」ほか50議案、及び、2月25日に追加提案されました第52号議案「平成27年度 埼玉県一般会計補正予算（第6号）」ほか26議案について原案の通り可決致しました。これら議案に対しては、各委員会にて付帯決議を2件付けさせて頂きました。また、平成28年度一般会計予算における審議では、知事が2025年問題解決に向けた予算編成と謳っておりましたが、施策達成のためのロードマップ不足等、場当たりの予算となっていることを指摘させて頂きましたが、県民生活への影響等に鑑み、予算の適切な執行を条件に原案に賛成致しました。この他、埼玉県監査委員の任命など人事議案について5件提案され、いずれも同意致したところであります。

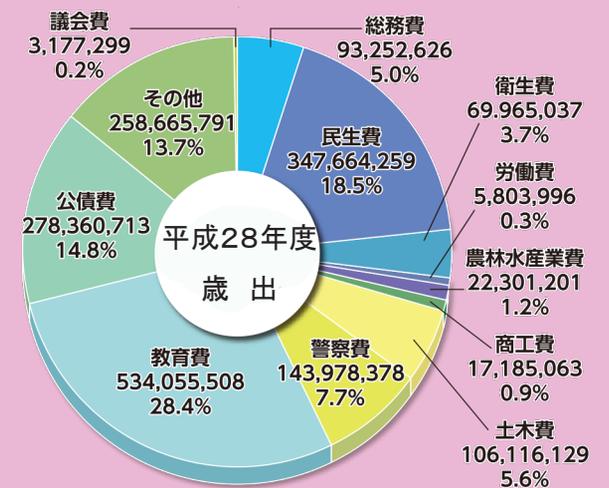
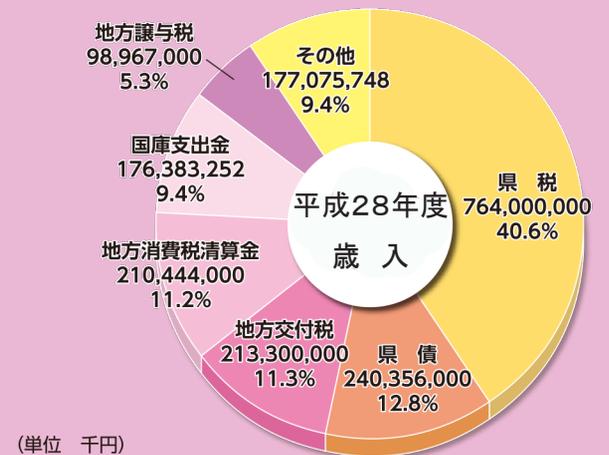
また、手話言語に関する要望やノーマライゼーション施策の推進のため、自民党県議団内にそれぞれのプロジェクト・チームを編成して、約一年に渡り調査・研究を進めて参りました。プロジェクト・チームにおける調査・研究の結果、手話が言語であるとの認識に基づき、共生することのできる社会の実現を目指す「埼玉県手話言語条例」及び、障害を理由とする差別の解消等を推進する「埼玉県障害のある人もない人も全ての人が安心して暮らしていける共生社会づくり条例」を策定し、今定例会に提案致しましたところ、全会一致で可決・成立致しました。県民要望にこたえる条例の制定が行えたものと自負しております。

更に、12月定例県議会から継続審査となっていました「埼玉県まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について」は、内容を自民党内で精査し修正したものを提案し、賛成多数で可決・成立しました。この他に、「埼玉県議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の埼玉県議会事務局条例の一部を改正する条例」を可決。また、「北朝鮮による拉致問題を全面解決するため、実効性ある制裁を求める意見書」ほか意見書4件を可決致しました。

本議会では議会構成の変更も行われました。議長には、南区選出の宮崎栄治郎議員が就任。副議長には蓮田市選出の石井平夫議員が就任致しました。私は、議会運営委員長を退任し、そのまま、議会運営委員会委員として残ることになりました。また、企画財政委員会 委員、公社事業対策特別委員会 委員長に就任しました。自民党県議団では、政務調査会長に就任させて頂きます。いろいろ大変な議会でありましたが、議会運営委員長として最後の議会を皆様のご協力で終えることができました。

今後も、県政推進・地域発展のために、様々な施策に挑戦して参ります。皆様の更なるご指導・ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。春爛漫。暖かい日々が多くなりましたが、お体ご自愛の上お過ごし下さい。

#### 平成28年度一般会計予算 総額1兆8,805億2600万円



埼玉県議会議員 田村たくみ

# 自治医科大学さいたま医療センター 救急救命センター開設へ！

自治医大さいたま医療センターが救急救命センターの指定を受けました。本年4月1日より3次救急医療機関として脳卒中、心筋梗塞、東部損傷など生命にかかわる重篤な患者に対して高度な救命医療を提供します。

原則として、重症及び複数の診療科領域にわたるすべての重篤な救急患者を24時間体制で受け入れます。このため、24時間診療体制を確保するために、必要な職員が配置され、救急救命センターの責任者が直接管理する相当数の専用病床を有することで高度な診療機能を発揮します。専用病床としては、ICUが6床、救急病床が20床となります。

県内では、これまでさいたま赤十字病院救命救急センターをはじめ7か所が第3次救急医療機関として指定されています。しかしながら、人口約125万のさいたま市（さいたま医療圏）内には、指定が日赤1か所しかなく、救急救命センター設置状況は全国的に見ても人口割合から少ないことから、地域医療整備の課題となっていました。

このような状況から、昨年の県議会議員選挙で田村県議が一番の公約として「救急救命センター」の自治医大さいたま医療センターへの設置を訴え施策の推進を図っておりました。今回、推進してきた施策が実現することで、地域の方々はもとより、県民の皆様の安心・安全・命に係わる重要な課題が前進できました。

埼玉県

保健医療部 医療整備課  
地域医療対策担当 坂・島元  
電話 048-830-3559  
代表 048-824-2111 内線 3631  
E-mail: a3530-02@pref.saitama.lg.jp

＜報道発表資料＞

平成28年3月31日

医療施策

県内8か所目の救命救急センターを指定

～自治医科大学附属さいたま医療センターを救命救急センターに指定します～

県では、第三次救急医療体制を整備するため、埼玉県5か年計画及び埼玉県地域保健医療計画に基づき、救命救急センターの整備を進めているところです。このたび、自治医科大学附属さいたま医療センターを本県8か所目の救命救急センターとして指定することとなりました。

1 指定日及び運用開始日  
平成28年4月1日（金）

2 救命救急センターの概要

- (1) 施設名：自治医科大学附属さいたま医療センター 救命救急センター
- (2) 所在地：さいたま市大宮区天沼町1-8-47
- (3) 運営主体：学校法人自治医科大学
- (4) 専用病床：26床（ICU 6床、救急病床 20床）

3 参考

(1) 救命救急センターとは  
脳卒中、心筋梗塞、頭部損傷など生命にかかわる重篤な患者に対して高度な救命医療を提供する第三次救急医療機関です。

【主な要件】

- ① 原則として、重症及び複数の診療科領域にわたるすべての重篤な救急患者を24時間体制で受け入れるものとする。
- ② 24時間診療体制を確保するために、必要な職員を配置するものとする。
- ③ 救命救急センターの責任者が直接管理する相当数の専用病床（概ね20床以上）の専用病床を有し、24時間体制で、重症及び複数の診療科領域にわたる全ての重篤な救急患者に対する高度な診療機能を有するものとする。

(2) これまでの7か所の指定状況

- ① さいたま赤十字病院 救命救急センター（昭和55年7月）
- ② 埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター（救命救急センター：昭和62年4月、高度救命救急センター：平成11年3月）
- ③ 深谷赤十字病院 救命救急センター（平成4年4月）
- ④ 防衛医科大学校病院 救命救急センター（平成4年9月）
- ⑤ 川口市立医療センター 救命救急センター（平成6年6月）
- ⑥ 獨協医科大学新谷病院 救命救急センター（平成10年5月）
- ⑦ 埼玉医科大学国際医療センター 救命救急センター（平成20年6月）

救急救命センター指定の報道発表資料

## 写真で見る活動報告！



議会運営委員会で議事を進行する田村県議



自民党大会にて議長を務める田村県議



埼玉県聴覚障害者協会との意見交換会

## 田村たくみプロフィール

埼玉県議会議員（3期）

- ・南6区（さいたま市見沼区）選出
- ・埼玉県議会議会運営委員会 委員
- ・企画財政委員会 委員
- ・公社事業対策特別委員会 委員長

昭和46年10月15日生まれ（44歳）

- ・さいたま市立海老沼小学校 卒業
- ・さいたま市立片柳中学校 卒業
- ・埼玉県立川口青陵高等学校 卒業
- ・放送大学教養学部 卒業
- ・明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科 修了（公共政策修士）

主な経歴及び役職

- ・埼玉県議会自民党議員団 政務調査会長
- ・自民党青年局中央常任委員会 副議長
- ・自民党埼玉県支部連合会 青年局長
- ・自民党さいたま市見沼区支部 支部長
- ・日本会議地方議員連盟 副幹事長
- ・さいたま市大宮野球連盟 副会長
- ・リトルリーグ大宮東リーグ 会長
- ・社会福祉法人 希求会 理事 等



県政のこと、身近なこと、何でもお気軽にご相談ください！お問い合わせは、「田村たくみ」事務所まで…！

埼玉県議会議員 田村たくみ 事務所

〒337-0042 さいたま市見沼区南中野457-15 e-mail: info@takumi-tamura.jp

電話：048-681-0005 FAX:048-681-0006

ホームページ <http://www.takumi-tamura.jp>

